

若者×ツナグバの団体「**海岸清掃プロジェクト**」の活動場所を訪問しました。

2022年8月23日(火) 10:00-11:00 若ツナのメンバー団体 海岸清掃プロジェクト(海プロ)の活動場所である東広島市の「みそのう にじいろ保育園」を訪問しました。

海プロメンバーの内、今日は女性だけ3名で、オンラインでは既に3~4回会って話をしましたが、直接会うのは初めてです。「みそのう にじいろ保育園」は、最近できた保育園で東広島市では一番広い敷地だそうです。最近田んぼを埋め立てて建設されたばかりで駐車場が広く数十台停まれるのに驚きました。建屋だけでなく、園庭も広く、屋根の下にビニールプールもありました。そして裏庭(といっても日当たりの良い南側)に菜園があり、ここで、彼女たちがあまもを肥料にして野菜作りを行ったそうです。

園長の久保先生に園内を案内していただきました。案内されて園内を回っているときに先生方が気さくに声をかけてこられ、海プロの人たちが歓迎されているのが分かりました。菜園で多くの野菜を収穫し、給食で食べたそうです。もう夏野菜は旬を過ぎましたが、まだナスやきゅうり、おくらがたくさんなっていました。また、園児たちとの交流もありました。園児たちが、おねえさん、おにいさんに感謝の気持ちを込めてメダルを作成していて、その表彰式も行われました。可愛い園児にメダルを首にかけてもらいおねえさんたちは嬉しそうでした。最後に、応接室で園長先生とお話をしました。久保園長はとても気さくな方で、学生さんが自ら声をかけてきてくれて大変ありがたかった、園児たちにもとてもいい思い出になった、ぜひ今後も続けてほしい、とのことでした。



<海岸清掃プロジェクト>

- ・広島大学総合科学部3年生の団体。昨年、海岸で海ゴミの現状を目の当たりにし衝撃を受けたことをきっかけに、広島県の島嶼部で海岸清掃や子どもたちを対象にした環境学習会を開催した。現在海洋プラスチックが問題となっているものの、その海洋ゴミの発生源である私たちは、自らの生活を海洋ゴミと結びつけて考え行動することは難しい。
- ・そこで今回は、保育園で野菜作りにアマモ肥料を使うことで園児たちに海を身近に感じてもらう。さらに、園児たちが自ら広島お宝野菜を育て、食べることを通して、広島県の伝統野菜や食文化について理解を深め、郷土愛を育むことも期待して活動を行っている。

(井上)